

四川省の地震 震源断層モデル すべり分布推定080717版

震源付近を除いて浅部にすべりが集中している。最大のすべり量は、北川付近で約11m。

震源域南東部では、比較的低角の右横ずれ成分を含む逆断層、震源域北東部では、比較的高角の右横ずれ成分を大きく含む逆断層が推定された。本震の震源から北東約50kmまでの領域ではやや深部でのすべりが見られるが、それ以外の場所では、浅部にすべりが集中している。最大のすべり量は、北川付近で約11mである。

